

整理番号	02-0871
区分 (事務局記入欄)	<input type="checkbox"/> 臨床研究( <input type="checkbox"/> 受託・共同 <input type="checkbox"/> 院内) <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 医薬品 <input type="checkbox"/> 医療機器 <input checked="" type="checkbox"/> その他

## 医学研究に関する情報公開文書

西暦 2023 年 9 月 22 日

研究課題名	良好な再開通を得た経皮的血栓回収術後に転帰不良であった脳梗塞患者に関する検討
研究実施期間	開始 西暦 2023 年 11 月 1 日 ~ 終了 西暦 2024 年 3 月 31 日 (予定)
研究の対象となる方 (予定症例数)	2022 年 4 月~2023 年 9 月に当院で脳血管カテーテル手術(経皮的血栓回収術)を受けられた方(後ろ向き調査) (予定症例数: 30 例)
研究の目的・方法	【目的】デバイス進歩や脳卒中救急診療体制の整備により主幹動脈閉塞による脳梗塞に対する経皮的血栓回収術を用いた早期有効再開通は高率で得ることができる一方、良好再開通後の転帰良好は 50%前後と手技結果に相反する。脳以外の侵襲が機能回復を遅らせるとの報告も近年報告されている。今回我々は、転帰不良となった症例における発症前の患者背景、当院受診後の経過について、文献的考察を加え検討を行った。【方法】2022 年 4 月から 2023 年 9 月、当院で行った経皮的血栓回収術で TICI 2b 以上の有効再開通症例が対象。90 日後の mRS 3 以下の予後良好群、mRS 4 以上の予後不良群に分け、発症前背景や再開通までの経過、術後について比較検討した。
研究に用いる試料・情報の種類	当院電子カルテより上記対象となる患者情報を抽出。年齢・性別・病歴・当院検査所見(採血・エコー・MRI・カテーテル検査治療の所見)・発症前/発症後の病状・既往歴・治療歴を調査する。抽出時、上記以外に個人を同定しうる情報は使用しない。
問い合わせ先	<ul style="list-style-type: none"><li>・本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</li><li>・ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</li><li>・また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</li></ul> <p>地方独立行政法人市立東大阪医療センター 研究責任者：脳神経外科 &lt;職名&gt;主任医長 朴 憲秀</p> <p>住所：大阪府東大阪市西岩田三丁目 4 番 5 号 TEL:06-6781-5101</p>